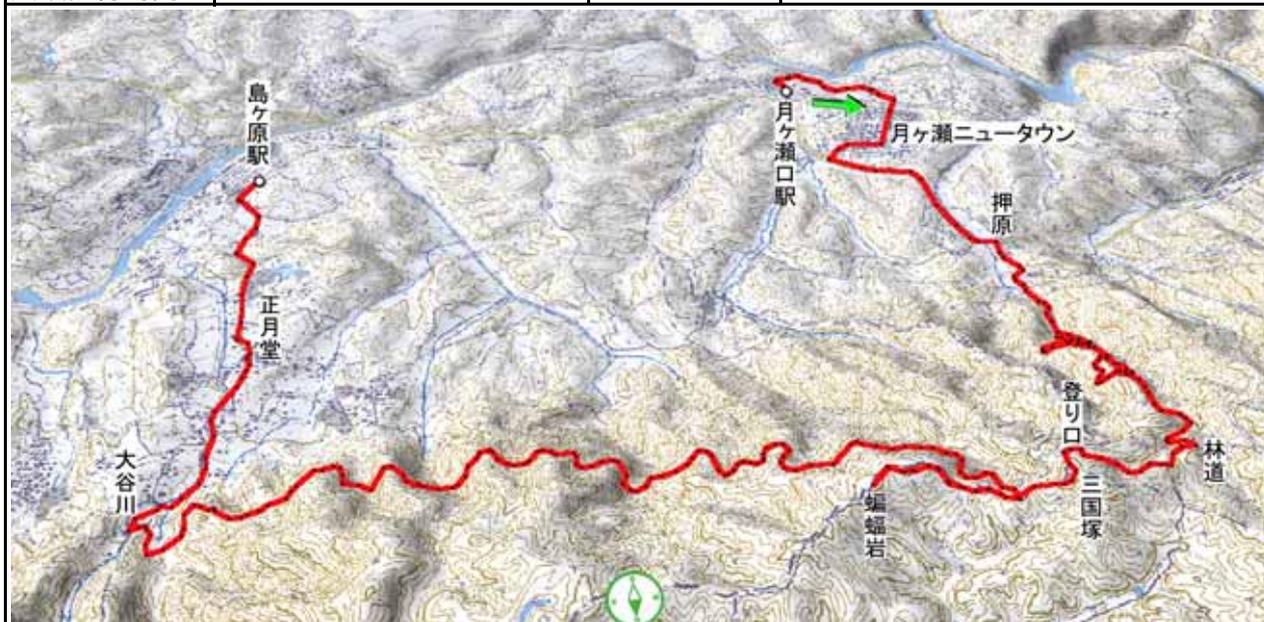


健康登山24:周辺の山13 (南山城 三国塚、蝙蝠岩)

コース	月ヶ瀬口駅 3.0km/46 0.2km/7 正月堂 0.2km/3	押原 2.9km/76 三国塚 0.7km/16 町角博物館 1.6km/21	林道合流 0.5km/11 蝙蝠岩 5.1km/84 島ヶ原駅	三国塚登り口 1.1km/14 大谷川分岐
水平距離	15.3km		断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
水平換算距離	13.9km			
累計高低差	登り911m、下り908m			
標準歩行時間	4:38			
実績歩行時間	4:53			



山行報告

山行日 2007・5・10(木) 天候 雨 参加者 8名

月ヶ瀬口駅10:04 月ヶ瀬ニュータウン出口10:34 押原10:50 林道合流12:02 三国塚登り口12:10 展望台12:16~43 三国塚12:52 蝙蝠岩13:14 大谷川14:35 正月堂14:54 まちかど博物館15:20 西念寺15:35 島ヶ原駅15:57 京都駅へ

記録

登山の前日は夏日、当日は寒冷前線が近畿地方を通過し終日雨で寒くなるという予報だった。しかしコースのほとんどが林道歩きなので予定通り実行した。
 月ヶ瀬口駅のホームから真北に三国塚と蝙蝠岩の山並みが見えた。押原までは東海自然歩道を歩くつもりだったが、散歩中の地元の人に近道として案内してもらって月ヶ瀬ニュータウンを通りR163に出て1kmほど歩いて押原に着いた。
 この辺りの地形は木津川が東西に流れ、北に1~2kmの平坦地があり、そこから標高5~600mの台地となり童仙房、野殿、多羅尾などの集落がある。押原の標高が170m、628mの三国塚までは直線距離で1700mである。したがって押原が実質的な登山口で、ここから所々舗装された林道を登った。
 南が開けた斜面なので天気によければ尼ヶ岳や三峰山など奈良の山々が見えるところである。やがて稜線を走る三国越林道と合流し、少し歩いて三国塚への登り口に着いた。三国塚は展望がないので途中で展望台と東屋があり、そこで昼食をした。
 三国塚は京都、三重、滋賀の境界である。さらに東へ尾根を歩くと三角点のある蝙蝠岩に着いた。ここも展望はなく三国塚へ戻る途中から三国越林道へ下り東の大谷川へ向かった。
 この林道も南斜面を斜めに下るので天気によれば景色を見ながら気分よく歩けそうである。大谷川から右岸を下り、正月堂で雨具を脱いだ指先がかじかんで苦労した。近くにある『まちかど博物館』(はさめず醤油蔵)に立ち寄りストーブに手をかざしながらおいしいお茶をいただいた。島ヶ原駅へ向かう途中で県下一大いカヤの巨木がある西念寺に立ち寄った。島ヶ原は歴史のある街でゆっくり、のんびり来てみたいところである。

周辺の山 (月ヶ瀬口駅～三国塚～蝙蝠岩～正月堂～島ヶ原駅)



月ヶ瀬口駅から
三国塚と蝙蝠岩
9:56



押原から登る
10:50



林道を歩く
11:27



三国塚登り口
12:10



三国塚にて
12:52



蝙蝠岩三角点
13:14



蝙蝠岩からの
戻り道
13:21



三国越標識
14:00



正月堂
14:54



西念寺の
カヤの巨木
15:37

名所・旧跡ミニガイド（周辺の山：南山城 三国塚・蝙蝠岩）

参考資料、京都滋賀南部の山／他より

- ◎ 三国塚 : 伊賀、山城、近江の三つの国が接する所で直径2㍍程の小さな塚がある
標高628mの平凡なピークで三角点は無く展望もないが近くに展望所あり。

※三府県境界及び旧三国境に位置する山：(近畿)

- 三国岳：894 近江・美濃・伊勢 鞍掛峠の北、山頂付近は紛らわしい
△815.0㍍と最高点911㍍があるが、三県境の三国岳は中央の894地点
三国ヶ岳：1209 近江・美濃・越前 余呉、揖斐、今庄、近くに三周ヶ岳あり
三国岳：△959.0 近江・山城・丹波 丹波、山城の最深部、尾根道は経ヶ岳へ
三国峠：△775.9 近江・若狭・丹波 京都側は芦生演習林、由良川の源流
三国岳：△616.4 若狭・丹後・丹波 近くの養老山へ縦走路、皆子7/1計画有
三国岳：△855.2 但馬・播磨・丹波 千ヶ峰の北方、古くからの峠越えの道
三国山：△885.7 和泉・河内・紀伊 和泉葛城山の北、近くに七越峠がある
三国山：△876.3 京都・滋賀・福井 マキノ赤坂山の北、野坂山地
三国岳：711 近江、伊賀、伊勢 油日岳～那須ヶ原山縦走途中に有り

- ◎ コウモリ岩：点名は蝙蝠岩 609.4m三等

多羅尾と伊賀奥田の県境尾根にあるが頂上に岩もなく、展望もない。何の変哲もない頂で三角点がなければ頂上とは気付かない。月ヶ瀬口駅より山並み認識可。

多羅尾古ヶ谷に不動山と言う山が有り 20㍍の岩壁で上部は庇状にせり出し、下部は洞穴が口をあけていて祠がある。不動山の岩壁周辺は薄暗く、コウモリが、棲んでいそうな雰囲気のところだそう。コウモリ岩の名の起源もひょっとしてここからかも？尾根の西方に三国塚がある。

- ◎ みゆき道(御幸道)：古くは信楽の多羅尾に行くのに二通りの、みゆき道ルートがあった。
聖武天皇が紫香楽宮の造営の折通られた道と言われる。

- *大河原から野殿越えにて牛場から多羅尾(恭仁宮から舟で大河原～野殿越)
*島ヶ原正月堂の左から多羅尾に登る旧道(春日山から柳生、月ヶ瀬、島ヶ原)

前回歩いた六所神社のある野殿の地名は天皇が休憩された屋敷のなごり。

多羅尾にも古殿という地名が残っている。

島ヶ原正月堂は古くは広国寺といわれ、聖武天皇の勅願寺として建立され、天皇の行在所の遺跡でないかといわれる。

- ◎ 三国越林道：島ヶ原と和束町を結ぶ全長 24.3 km の広域幹線道路として 1986 年開通。
途中で分岐、信楽町にも通じていることから、三国越え林道と名付けられた。
林道沿いに松や檜が植林され、ほかに林道東部は櫻が 1100 本ほど植えられ、
春や秋は色鮮やかで四季折々の美しさが満喫できるとか。標高は 450m

- ◎ 観菩提寺正月堂：天平勝宝 4 年(752) 聖武天皇の勅願で奈良東大寺の実忠和尚により開
基。奈良二月堂のお水取りに先駆けて行われる^{しゅうしやうえ}修正会(2/11~2/12)は修二
会の発祥の地とも言われる。《東大寺は修二会^{しゅうにえ}という》昔は東大寺の寺領で
もあった。
本尊十一面観音像（国重文、平安後期）は秘仏で三十三年に一度の御開帳。
聖武天皇が紫香楽宮と奈良との往復路にあたる島ヶ原に休憩所として^{あんぐう}行宮
を建てその行宮を改修して正月堂を建立。
天正年間(1573~1592)兵火にあう、焼失を免れた楼門が往時の大寺の面影を
残している。単層入母屋造りの本堂は室町時代の作。（JR 駅から 1.5 駅^駅）

- ◎ 石薬師磨崖仏：元岩動寺といわれ崖下に建つお堂の中に、南北朝時代 1350 年頃の薬師
如来と阿弥陀三尊像が花崗岩に彫られている。
母乳がよく出るようにとお参りする人が多い。

- ◎ 薬師沢六地藏：石薬師堂の近くの路傍に、ぽつんと立つ岩に刻まれた六地藏。
島ヶ原には到るところに数知れないほど、六地藏などの石仏があるという。

- ◎ 西念寺^{さいねんじ}：伊賀観音第 25 番札所、伊賀の名木として樹齢 500 年余の**カヤの木**がある
カヤは食料、油料植物として貴重であった、県内各地でカヤの木は大切にさ
れてきた、西念寺のカヤの木は県内最大級、樹高 16m、胸高周囲 6.16m。

- ◎ 島ヶ原駅：明治 30 年関西鉄道株式会社により島ヶ原に鉄道が開通した。（上野～加茂間）
明治 40 年国有鉄道となり、関西本線と改称された。
駅舎屋根瓦に関西鉄道当時の面影が残っている。
（この間、加茂～大仏～奈良間が開通したが明治 40 年廃止になった）

- ◎ 「はさめず」醤油蔵：手造り醤油で NHK TV に紹介された福岡醤油店（町角博物館）
- ◎ きゅうりの粕漬け：伊賀米で造った伊賀酒の酒粕でじっくり漬け込んだ島ヶ原の名産品
- ◎ 伊賀焼き：島ヶ原の特産耐火粘土を使用、豪快で力強さがある。古琵琶湖層湖底の堆積
土、蛙目粘土といい水に濡れたとき石英粒が蛙の目のように見えるらしい
500 万年前、太古の琵琶湖はこの辺りにあって徐々に移動したといわれる。